

CHAT SYSTEM AND TERMINAL EQUIPMENT, DISPLAY METHOD AND RECORDING MEDIUM OF THE SYSTEM

Patent Number: JP10154117
Publication date: 1998-06-09
Inventor(s): MURAKAMI MASAHIKO;; MATSUDA MASAHIRO
Applicant(s): FUJITSU LTD
Requested Patent: ☐ JP10154117
Application Number: JP19970146876 19970604
Priority Number(s):
IPC Classification: G06F13/00; G06F13/00; G06F3/14
EC Classification:
Equivalents: JP3213737B2

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a chat system having an information extraction function that is attained by computerizing a notification function and chats which are used in an office working mode by displaying the chats of plural channels on each area of a single display screen via a terminal equipment.

SOLUTION: In this system, a chart server, i.e., a host computer is connected to plural terminal equipments such as a personal computer, etc., via a network of a public circuit. A display screen of the terminal equipment includes an upper area 23 where the chats of a channel (main channel) that is currently noticed are displayed and a lower area 24 where the chats of other channels are displayed. A center area 22 is secured between both areas 23 and 24 to display the speeches which are inputted via a keyboard prepared at hand. Furthermore, a right end area 25 displays a list of names of the chat participants.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-154117

(43) 公開日 平成10年(1998) 6月9日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I	
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 D
	3 5 1		3 5 1 G
3/14	3 4 0	3/14	3 4 0 A

審査請求 未請求 請求項の数24 O L (全 16 頁)

(21) 出願番号 特願平9-146876

(22) 出願日 平成9年(1997) 6月4日

(31) 優先権主張番号 特願平8-259798

(32) 優先日 平8(1996) 9月30日

(33) 優先権主張国 日本 (J P)

(71) 出願人 000005223

富士通株式会社

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号

(72) 発明者 村上 雅彦

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(72) 発明者 松田 正宏

神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番
1号 富士通株式会社内

(74) 代理人 弁理士 河野 登夫

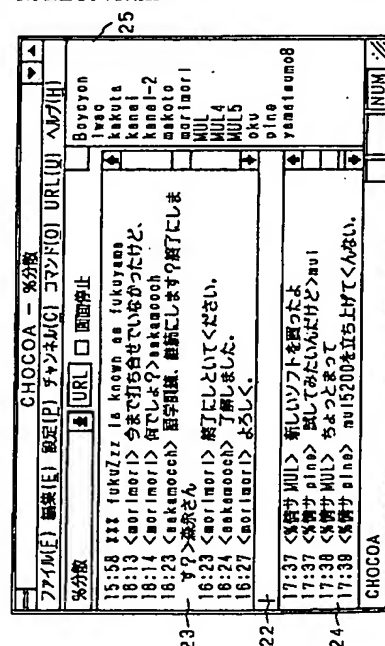
(54) 【発明の名称】 チャットシステムの端末装置、チャットシステム、チャットシステムの表示方法及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 オフィスで仕事をしながら使用するための通知機能、及び会話を電子化することにより可能となる情報抽出機能を有するチャットシステムの表示方法の提供。

【解決手段】 複数のチャンネルにおける文字による会話を表示し、これらの会話の内、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域23、24に表示し、入力された発言はそれぞれの領域23、24の間の領域22に表示するようになっている。

第3、第5発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数のチャンネルにおける文字による会話を表示し、該会話の内、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示する手段と、入力された発言は前記それぞれの領域の間の領域に表示する手段とを備えることを特徴とするチャットシステムの端末装置。

【請求項2】 請求項1記載のチャットシステムの端末装置を備えることを特徴とするチャットシステム。

【請求項3】 複数のチャンネルにおける文字による会話を表示し、該会話の内、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示し、入力された発言は前記それぞれの領域の間の領域に表示することを特徴とするチャットシステムの表示方法。

【請求項4】 前記主チャンネルにおける会話と前記その他のチャンネルにおける会話とは、前記それぞれの領域の間の領域に最も近い位置に、最新の発言が表示されるように時系列的に並べて表示する請求項3記載のチャットシステムの表示方法。

【請求項5】 前記その他のチャンネルの主チャンネルへの置換は、前記その他のチャンネルの前記領域の当該チャンネルの発言が指定されたことにより行われる請求項3又は4記載のチャットシステムの表示方法。

【請求項6】 会話中に表示されたURLを該URLの前後の所定行数分の発言と共に記憶しておき、指示に従って、前記URLを一覧表示し、選択された前記URLを前記発言と共に一覧表示することを特徴とするチャットシステムの表示方法。

【請求項7】 前記記憶したURLと該URLの前後の所定行数分の発言とをデータベースに登録しておき、指示に従って、一覧表示する請求項6記載のチャットシステムの表示方法。

【請求項8】 キーワードを設定しておき、会話表示中に該キーワードが表示されたときは、該キーワードの太字表示化又は所定音の発生を行い、会話表示中でない場合に前記キーワードを受信したときは、会話表示への復帰を行い、前記キーワードを強調することを特徴とするチャットシステムの表示方法。

【請求項9】 前記キーワードを該キーワードの前後の所定行数分の発言と共に記憶しておき、指示に従って、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示する請求項8記載のチャットシステムの表示方法。

【請求項10】 会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示する請求項9記載のチャットシステムの表示方法。

【請求項11】 前記キーワードを記憶した後、入力されたときに、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示する請求項9又は10記載のチャットシステムの表示方法。

【請求項12】 会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に、外部に設けられたリストアプリケーションプログラムに登録し、会話終了後も保存する請求項9～11の何れかに記載のチャットシステムの表示方法。

【請求項13】 会話の参加者を一覧表示し、選択された前記参加者と電話接続することを特徴とするチャットシステムの表示方法。

【請求項14】 複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話の内、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示するステップと、入力された発言を前記それぞれの領域の間の領域に表示するステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする記録媒体。

【請求項15】 前記主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示するステップは、前記それぞれの領域の間の領域に最も近い位置に、最新の発言が表示されるように時系列的に並べて表示する請求項14記載の記録媒体。

【請求項16】 前記その他のチャンネルの前記領域の発言が指定されたときは、前記チャンネルを主チャンネルに置換するステップを含む請求項14又は15記載の記録媒体。

【請求項17】 複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話を表示するステップと、前記会話中に表示されたURLを該URLの前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップと、指示に従って、前記URLを一覧表示するステップと、選択された前記URLを前記発言と共に一覧表示するステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする記録媒体。

【請求項18】 前記記憶したURLと該URLの前後の所定行数分の発言とをデータベースに登録するステップと、指示に従って、前記登録したURLと該URLの前後の所定行数分の発言とを一覧表示するステップとを含む請求項17記載の記録媒体。

【請求項19】 複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話を表示するステップと、キーワードを設定するステップと、会話表示中に該キーワードが表示されたときは、該キーワードの太字表示化又は所定音の発生を行うステップと、会話表示中でない場合に前記キーワードを受信したときは、会話表示への復帰を行うステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする記録媒体。

【請求項20】 前記キーワードを該キーワードの前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップを含む請求項19記載の記録媒体。

【請求項21】 複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話を表示するステップと、前記会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示するステップとを含む請求項20記載の記録媒体。

【請求項22】 前記キーワードを該キーワードの前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップの後、入力されたときに、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示するステップを含む請求項20又は21記載の記録媒体。

【請求項23】 会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に、外部に設けられたリストアプリケーションプログラムに登録するステップを含む請求項19～22の何れかに記載の記録媒体。

【請求項24】 複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話を表示するステップと、前記会話の参加者を一覧表示するステップと、選択された前記参加者と電話接続するステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、コンピュータである端末装置間の情報交換を行うチャットシステム、チャットシステムの端末装置、チャットシステムの表示方法及びその実施に使用する記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】端末装置間の情報交換を行う手段としてチャットシステムがある。図1は、このチャットシステムの構成例を示すブロック図である。チャットシステムは、ホストコンピュータであるチャットサーバ2と、複数の端末装置3～6とを公衆回線のネットワーク1を介して接続しておき、チャットサーバ2が端末装置3～6から受信したメッセージを即時に他の端末装置3～6へ送信することにより、それぞれの端末装置を操作するオペレータ同士の文字による会話を実現するものである。

【0003】チャットシステムは、発言内容とその発言者名とを対応させて端末装置3～6に表示する。従って、一時に複数の発言が発せられたとしても発言者が取り違えられることなく、他のオペレータにその発言内容が確実に伝わるので意見のやり取りが円滑に進む。また、端末装置3～6に表示された発言内容をそのままテキストデータとして残すことができるので、このテキストデータから議事録を容易に作成することができる。また、最近のイントラネットブームに見られるように、オフィスの電子化が急速に進んでいるが、共同作業を行う上で重要な役割を担うオフィスの会話（情報交換、挨拶等）の電子化については、あまり取り上げられていない。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】従来のチャットシステム

（例えば、IRC、Niftyのリアルタイム会議）は、会議に専念することが前提となっているが、上述したオフィスの会話に使用するには、仕事をしながら使用できるようなシステムでなければならない。また、従来のチャットシステムは、会話を電子化することによる利点を十分に追求したものとは言えなかった。本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、オフィスで仕事をしながら使用するための通知機能、及び会話を電子化することにより可能となる情報抽出機能を有するチャットシステムの端末装置、チャットシステム、チャットシステムの表示方法及びその実施に使用する記録媒体の提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の第1発明に係るチャットシステムの端末装置は、複数のチャンネルにおける文字による会話を表示し、前記会話の内、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示する手段と、入力された発言は前記それぞれの領域の間の領域に表示する手段とを備えることを特徴とする。

【0006】このチャットシステムの端末装置では、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示し、手元のキーボードから入力された発言は、主チャンネル及びその他のチャンネルそれぞれの領域の間の領域に表示するので、今話しているチャンネル（主チャンネル）の会話内容に注目し発言しつつ、その他のチャンネルの会話内容をも見ることができる。

【0007】第2発明に係るチャットシステムは、請求項1記載のチャットシステムの端末装置を備えることを特徴とする。

【0008】このチャットシステムでは、端末装置は、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示し、手元のキーボードから入力された発言は、主チャンネル及びその他のチャンネルそれぞれの領域の間の領域に表示するので、今話しているチャンネル（主チャンネル）の会話内容に注目し発言しつつ、その他のチャンネルの会話内容をも見ることができる。

【0009】第3発明に係るチャットシステムの表示方法は、複数のチャンネルにおける文字による会話を表示し、前記会話の内、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示し、入力された発言は前記それぞれの領域の間の領域に表示することを特徴とする。

【0010】第4発明に係るチャットシステムの表示方法は、前記主チャンネルにおける会話と前記その他のチャンネルにおける会話とは、前記それぞれの領域の間の領域に最も近い位置に、最新の発言が表示されるように時系列的に並べて表示することを特徴とする。

【0011】第5発明に係るチャットシステムの表示方法は、前記その他のチャンネルの主チャンネルへの置換は、前記その他のチャンネルの前記領域の当該チャンネルの発言が指定されたことにより行われることを特徴とする。

【0012】第6発明に係るチャットシステムの表示方法は、会話中表示されたURLを該URLの前後の所定行数分の発言と共に記憶しておき、指示に従って、前記URLを一覧表示し、選択された前記URLを前記発言と共に一覧表示することを特徴とする。

【0013】第7発明に係るチャットシステムの表示方法は、前記記憶したURLと該URLの前後の所定行数分の発言とをデータベースに登録しておき、指示に従って、一覧表示することを特徴とする。

【0014】第8発明に係るチャットシステムの表示方法は、キーワードを設定しておき、会話表示中に該キーワードが表示されたときは、該キーワードの太字表示化又は所定音の発生を行い、会話表示中でない場合に前記キーワードを受信したときは、会話表示への復帰を行い、前記キーワードを強調することを特徴とする。

【0015】第9発明に係るチャットシステムの表示方法は、前記キーワードを該キーワードの前後の所定行数分の発言と共に記憶しておき、指示に従って、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示することを特徴とする。

【0016】第10発明に係るチャットシステムの表示方法は、会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示することを特徴とする。

【0017】第11発明に係るチャットシステムの表示方法は、前記キーワードを記憶した後、入力されたときに、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示することを特徴とする。

【0018】第12発明に係るチャットシステムの表示方法は、会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に、外部に設けられたリストアプリケーションプログラムに登録し、会話終了後も保存することを特徴とする。

【0019】第13発明に係るチャットシステムの表示方法は、会話の参加者を一覧表示し、選択された前記参加者と電話接続することを特徴とする。

【0020】第14発明に係る記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、複数のチャンネルにおける会話の内、主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示するステップと、入力された発言を前記それぞれの領域の間の領域に表示するステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする。

【0021】第3発明に係るチャットシステムの表示方法及び第14発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、主チャンネル

における会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示し、手元のキーボードから入力された発言は、主チャンネル及びその他のチャンネルそれぞれの領域の間の領域に表示するので、今話しているチャンネル（主チャンネル）の会話内容に注目し発言しつつ、その他のチャンネルの会話内容を見ることができる。

【0022】第15発明に係る記録媒体は、前記主チャンネルにおける会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域に表示するステップは、前記それぞれの領域の間の領域に最も近い位置に、最新の発言が表示されるように時系列的に並べて表示することを特徴とする。

【0023】第4発明に係るチャットシステムの表示方法及び第15発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、主チャンネル（今話しているチャンネル）における会話とその他のチャンネルにおける会話は、主チャンネル及びその他のチャンネルそれぞれの領域の間の領域に最も近い位置に、最新の発言が表示されるように時系列的に並べて表示するので、主チャンネルに発言しつつ、主チャンネル及びその他のチャンネルの会話内容を最新のものから見ることができる。

【0024】第16発明に係る記録媒体は、前記その他のチャンネルの前記領域の発言が指定されたときは、前記チャンネルを主チャンネルに置換するステップを含むことを特徴とする。

【0025】第5発明に係るチャットシステムの表示方法及び第16発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、その他のチャンネルの領域の当該チャンネルの発言が指定されることにより、当該チャンネルが主チャンネルとなる。これにより、オペレータにとって面白い話題、気になる話題の会話に直ちに加入することができる。

【0026】第17発明に係る記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話を表示するステップと、前記会話中表示されたURLを該URLの前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップと、指示に従って、前記URLを一覧表示するステップと、選択された前記URLを前記発言と共に一覧表示するステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする。

【0027】第6発明に係るチャットシステムの表示方法及び第17発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、会話中表示されたURLをその前後の所定行数分の発言と共に記憶しておく。そして、オペレータの指示に従って、URLを一覧表示し、そこから選択されたURLを前後の所定行数分の発言と共に一覧表示する。会話の中でURL

(Uniform Resource Locator)が登場する場合、その前後に説明が付く(例えば、このURLはこういうところが面白いとか、この前、〇〇の情報を知りたがっていたけど等)ことが多い。従って、上述したようにURLの文字列と共に文脈を同時に抽出することにより、会話の中から重要な情報を抽出することができる。また、データベースに登録することにより、いつでも簡単に利用可能な情報データベースが普通の会話から作成できる。

【0028】第18発明に係る記録媒体は、前記記憶したURLと該URLの前後の所定行数分の発言とをデータベースに登録するステップと、指示に従って、前記登録したURLと該URLの前後の所定行数分の発言とを一覧表示するステップとを含むことを特徴とする。

【0029】第7発明に係るチャットシステムの表示方法及び第18発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、会話中表示されたURLをその前後の所定行数分の発言と共に記憶しておき、その記憶したURLとその前後の所定行数分の発言とをデータベースに登録しておく。そして、オペレータの指示に従って、URLをその前後の所定行数分の発言と共に一覧表示する。

【0030】会話の中でURL(Uniform Resource Locator)が登場する場合、その前後に説明が付く(例えば、このURLはこういうところが面白いとか、この前、〇〇の情報を知りたがっていたけど等)ことが多い。従って、データベースに登録することにより、いつでも簡単に利用可能な情報データベースが普通の会話から作成できる。

【0031】第19発明に係る記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話を表示するステップと、キーワードを設定するステップと、キーワードを設定するステップと、会話表示中に該キーワードが表示されたときは、該キーワードの太字表示化又は所定音の発生を行うステップと、会話表示中でない場合に前記キーワードを受信したときは、会話表示への復帰を行うステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする。

【0032】第8発明に係るチャットシステムの表示方法及び第19発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、キーワードを設定しておき、会話表示中にそのキーワードが表示されたときは、そのキーワードの太字表示化又は所定音の発生を行って、そのキーワードを強調する。また、会話表示中でない場合にそのキーワードを受信したときは、会話表示への復帰を行って、そのキーワードを強調する。これにより、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、会話に専念していても、名前を呼ばれると直ちに返事ができるので、安心して会話から目が離せる。また、呼ぶ側も名前を呼べば、相手が見

てくれるという安心感が得られるので、参加者が会話に専念していない状態でも安心して発言することができる。

【0033】第20発明に係る記録媒体は、前記キーワードを該キーワードの前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップを含むことを特徴とする。

【0034】第9発明に係るチャットシステムの表示方法及び第20発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、キーワードを設定しておき、会話表示中にそのキーワードが表示されたときは、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に記憶しておく。そして、オペレータの指示に従って、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に一覧表示する。これにより、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、会話に専念してなくても、名前を呼ばれると直ちに返事ができ、文脈も直ちに確認できるので、安心して会話から目が離せる。また、呼ぶ側も名前を呼べば、相手が見てくれるという安心感が得られるので、参加者が会話に専念していない状態でも安心して発言することができる。

【0035】第21発明に係る記録媒体は、会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示するステップを含むことを特徴とする。

【0036】第10発明に係るチャットシステムの表示方法及び第21発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、キーワードを設定しておき、会話表示中にそのキーワードが表示されたときは、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に記憶しておく。そして、会話終了時に、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に一覧表示する。これにより、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、今日一日自分がどういう用件で呼ばれたかを再確認でき、やり残した仕事がないかをチェックできる。

【0037】第22発明に係る記録媒体は、前記キーワードを該キーワードの前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップの後、入力されたときに、前記キーワードを前記発言と共に一覧表示するステップを含むことを特徴とする。

【0038】第11発明に係るチャットシステムの表示方法及び第22発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、キーワードを設定しておき、会話表示中にそのキーワードが表示されたときは、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に記憶しておく。そして、手元のキーボードから入力されて、オペレータが発言したときに、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に一覧表示する。これにより、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、端末装置の前から離れている間に名前を呼ばれた場合に、端末装置の前に戻って来

て、直ちに、名前を呼ばれたこととその文脈を確認することができる。

【0039】第23発明に係る記録媒体は、会話終了時に、前記キーワードを前記発言と共に、外部に設けられたリストアプリケーションプログラムに登録するステップを含むことを特徴とする。

【0040】第12発明に係るチャットシステムの表示方法及び第23発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、キーワードを設定しておき、会話表示中にそのキーワードが表示されたときは、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に記憶しておく。そして、会話終了時に、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に、外部に設けられたリストアプリケーションプログラムに登録し、会話終了後も保存する。これにより、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、自分がどういう用件で呼ばれたかを確認でき、その記録を保存しておくことができ、やり残している仕事がないかをチェックできる。

【0041】第24発明に係る記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、前記会話を表示するステップと、前記会話の参加者を一覧表示するステップと、選択された前記参加者と電話接続するステップとを含むチャットシステムの表示方法のコンピュータプログラムを記録してあることを特徴とする。

【0042】第13発明に係るチャットシステムの表示方法及び第24発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータでは、会話の参加者を一覧表示し、オペレータが選択した参加者と電話接続するので、オペレータが、会話中に一对一で直接話をしたくなった場合に、簡単な操作により電話接続することができる。

【0043】

【発明の実施の形態】以下に、本発明をその実施の形態を示す図面に基づいて説明する。図1は、本発明に係るチャットシステムの構成例を示すブロック図である。このチャットシステムは、ホストコンピュータであるチャットサーバー2と、複数の本発明に係る端末装置（例えばパーソナルコンピュータ）3～6とを公衆回線のネットワーク1を介して接続しておき、チャットサーバ2が端末装置3～6から受信したメッセージを即時に他の端末装置3～6へ送信することにより、それぞれの端末装置を操作するオペレータ同士の文字による会話を実現するものである。チャットシステムは、発言内容とその発言者名とを対応させて端末装置3～6に表示するので、一時に複数の発言が発せられたとしても発言者を取り違えられることがない。

【0044】図2は、本発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の記憶装置の構成を示すブロック図である。この記憶装置10は、現在注目してい

るチャンネル（主チャンネル）を記憶する領域12と、キーワードが出現してから、手元のキーボードからの入力があり、キーワードが前後の文脈と共に表示される迄使用される（第10発明）キーワード出現フラグ11と、設定されたキーワード文字列及びそのキーワードが受信、表示されたときのアクション（第7発明）からなるキーワードデータを格納する領域13と、抽出されたキーワード文字列及びその前後の所定行数分の発言を格納する（第8～11発明）領域15とを有している。

【0045】また、記憶装置10は、抽出されたURL文字列及びその前後の所定行数分の発言を格納する（第6発明）領域14と、複数のチャンネル毎のデータを格納する領域16、19等を有している。チャンネル毎のデータを格納する領域16、19は、それぞれチャンネル1、2の領域であり、それぞれ、所定行数分の前文脈（最新の発言）を保存しておく（第6、8～11発明）前文脈保存領域17、20、キーワードの所定行数分の後文脈を登録する（第8～11発明）キーワードキュー（キュー；先入れ先出しリスト）18、21及びURLの所定行数分の後文脈を登録する（第6発明）URLキュー18a、21aからなっており、記憶装置10は、以下同様の領域を所要数有している。

【0046】図3は、第1発明に係るチャットシステムの端末装置の表示画面及び第3、5発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図である。この表示画面は、上部に、現在注目しているチャンネル（主チャンネル）の会話を表示する領域23を有し、下部に、その他のチャンネルの会話を表示する領域24を有し、領域23、24に挟まれた中央部に、手元のキーボードから入力された発言を表示する領域22を有し、右端部に、現在注目しているチャンネル及びその他のチャンネルにおける会話への参加者の名前を一覧表示する領域25を有している。

【0047】現在注目しているチャンネルの会話を表示する領域23では、各発言は、発言時刻（例、16:23）、発言者の名前（ニックネーム（例、morimori））及び発言内容（例、終了にしたい）からなり、発言順に上から表示される。その他のチャンネルの会話を表示する領域24では、その他のチャンネルが複数の場合、発言が属するチャンネルに関係なく、発言された順番に表示する。また、各発言は、発言時刻、発言が属するチャンネル名（例、%情サ）、発言者の名前（ニックネーム（例、MUL））及び発言内容（例、ちょっとまって）からなり、発言順に上から表示される。

【0048】図4は、第1発明に係るチャットシステムの端末装置及び第3、5発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。端末装置は、チャットサーバーから会話（発言）が届いているとき（S10、YES）、その会話が

注目しているチャンネルの会話であるときは(S16, YES)、その会話を、注目しているチャンネルのウィンドウ(領域)23に表示して(S20)リターンする。その会話が注目しているチャンネルの会話でないときは(S16, NO)、その会話をその他のチャンネルのウィンドウ(領域)24に表示して(S18)リターンする。

【0049】チャットサーバーから送信されて来る会話は、発言者の名前(ニックネーム)、発言したチャンネル名及び発言内容からなっており、例えば、mul privmsg #cocoa こんにちは、の場合、mul : 発言者の名前、privmsg : 会話であることを示すコマンド、#cocoa : 発言先名となっている。

【0050】端末装置は、チャットサーバーから会話(発言)が届いていないとき(S10, NO)に、ユーザー(オペレータ)が手元のキーボードからメッセージ(発言)を入力したときは(S12, YES)、入力用ウィンドウ(入力された発言を表示する領域)22に表示し(S22)、改行キーが操作されたときは(S24, YES)、そのメッセージを送信すると共に、その会話を、注目しているチャンネルのウィンドウ23に表示して(S26)リターンする。ユーザーが手元のキーボードからメッセージを入力しないときは(S12, NO)、その他の処理を行い(S14)リターンする。

【0051】端末装置は、その他のチャンネルのウィンドウ24に表示している会話(発言)が、図示しないマウス等のポインティングデバイスによってダブルクリックされた場合、その会話が属するチャンネルを、注目しているチャンネルとして、そのチャンネルの会話を、注目しているチャンネルのウィンドウ23に表示する。それ迄、ウィンドウ23に表示していたチャンネルの会話は、ウィンドウ24に時系列順(他にその他のチャンネルがある場合は、その会話も含めて)に表示する(第5発明)。

【0052】この場合、その他のチャンネルのウィンドウ24に表示している会話は、チャンネル名、発言者の名前及び発言内容を、例えば、<%惜サ: MUL>ちょっとまって、のように、<チャンネル名: 発言者のニックネーム>発言内容、のフォーマットで表示されており、端末装置は、ユーザーがこの会話をクリックすると、その行の内容をウィンドウ24上から取得する。端末装置は、<と: との間をチャンネル名として認識し、注目するチャンネルをこのチャンネルに変更する。

【0053】また、この場合、以下のようにしても良い。端末装置は、その他のチャンネルのウィンドウ24の各行と、発言されたチャンネルとの対応表を記憶装置に持つようにする。この対応表は、次のように更新する。

1. 起動時に対応表をクリアする。
2. その他のチャンネルのウィンドウ24にメッセージ

を一行単位で表示する。

3. その他のチャンネルのウィンドウ24にメッセージを表示する際、チャンネル名を対応表の末尾に追加する。

4. 1. 2. 3. の結果、対応表に各行のメッセージに対応するチャンネル名が格納される。

【0054】端末装置は、ユーザーがその他のチャンネルのウィンドウ24をダブルクリックすると、ダブルクリックされた行が何行目か(行番号)をウィンドウ24から取得する。この行番号を使用して対応表を検索し、行番号に対応するチャンネル名を取得する。この取得したチャンネルを、注目するチャンネルとする。

【0055】図5は、第4発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図である。この表示画面は、その他のチャンネルの会話を表示する領域24に表示される会話が、発言順に下から表示され、最新の発言が、入力された発言を表示する領域22に最も近い位置に表示される。その他の表示方法及び端末装置の動作は、上述した、第3、5発明に係るチャットシステムの表示方法の実施の形態と同様であるので、説明を省略する。

【0056】図6は、第6発明に係るチャットシステムの表示方法による、URLの一覧表と選択されたURLの前後の所定行数分の会話(発言)の一覧表とを表示する画面を示す説明図である。この画面では、上部に、図3の画面から抽出されたURLの一覧表30が配置され、下部に、URLの一覧表30で選択されたURLの前後の所定行数分の会話(発言)の一覧表31が配置されている。この画面は、図3に示された画面においてメニューの中からURL(U)が選択されることにより表示される。

【0057】図7は、第7発明に係るチャットシステムの表示方法による、データベースに登録された、URLとその前後の所定行数分の会話(発言)の一覧表を表示する画面を示す説明図である。この画面では、日付毎にまとまって表示される。図8~10は、第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。端末装置は、起動時に各チャンネルの前文脈保存領域17、20(図2)をクリアする(S30)。

【0058】端末装置は、メッセージ(会話)を受信した都度、そのメッセージをそのチャンネルの前文脈保存領域の末尾に追加して行く(S32)。前文脈保存領域に記憶されたメッセージが例えば5行を超えた場合(S34, YES)、前文脈保存領域の先頭1行分を削除し(S36)、記憶されたメッセージが5行を超えないようにする。

【0059】端末装置は、画面に表示されたURLを抽出する場合、抽出したURLデータの領域14(図2)に、その表示されたURL分の領域を確保する(S4

0)。次に、そのURLが表示されたチャンネルの前文脈保存領域の内容を、URLの前文脈として、確保した(S40)領域に複写する(S42)。次に、抽出したURLを確保した(S40)領域に複写する(S44)。次に、URLデータが必要とする後文脈の行数を例えば5行に設定し(S46)、そのチャンネルのURLキュー18a、21aに登録する(S48)。

【0060】端末装置は、メッセージ(会話)を画面に表示する都度、そのメッセージのチャンネルのURLキューにデータがあるかをチェックし(S50)、データがあれば(S50, YES)、その先頭データを取り出す(S52)。次に、そのメッセージを、確保した(S40)領域に、URLデータの後文脈として追加し、取り出した(S52)データから1を差し引く(S54)。次に、1を差し引いた(S54)データが0であれば(S56, YES)、URLキューから外し(S58)、URLキューに次のデータがあるかをチェックする(S60)。1を差し引いた(S54)データが0でなければ(S56, NO)、直接、URLキューに次のデータがあるかをチェックする(S60)。

【0061】URLキューに次のデータがあれば(S60, YES)、そのデータを取り出し(S62)、次のメッセージを、確保した(S40)領域に、URLデータの後文脈として追加し、取り出した(S62)データから1を差し引く(S54)。以下、同様にして、後文脈が5行になる迄追加する。上述したようにしておけば、URLキューは先入れ先出しリストであるので、URLが5行以内の間隔で画面に表示された場合でも、それぞれのURLについて5行の後文脈を確保することができる。

【0062】図11は、第8～12発明に係るチャットシステムの表示方法による、キーワード設定のための画面を示す説明図である。この画面では、下部の領域41で、キーワード(複数でも良い)を設定し、上部の領域40で、設定したキーワードが、図3に示す会話表示画面に表示されたとき又はチャットサーバーから送られて来たときのアクション(BEEPを鳴らす、前面に出す(太字表示化)、アイコン時には通常のサイズに戻す(図3に示す会話表示画面に復帰))を設定する。設定したデータは、キーワードデータ格納領域13(図2)にキーワードデータとして格納される。

【0063】第8～12発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置は、設定したキーワードが、図3に示す会話表示画面に表示されたとき、BEEPを鳴らすかそのキーワードを前面に出す。また、会話表示画面でないときに、設定したキーワードがチャットサーバーから送られて来たとき、会話表示画面に復帰する。端末装置が画面に表示されたキーワードを抽出する場合、抽出したキーワードデータの領域15(図2)に、その表示されたキーワード分の領域を確保する。

【0064】端末装置は、URLの場合と同様のキーワードキュー18、21(図2)を各チャンネルに有しており、前文脈、キーワード及び後文脈を抽出する動作は、上述した第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作において、URLをキーワードに置き換えた動作と同様であるので説明を省略する。

【0065】図12は、第9、11発明に係るチャットシステムの表示方法による、抽出した前文脈、キーワード及び後文脈を表示した画面を示す説明図である。これにより、名前と呼ばれた文脈を確認できる。第9、10、12発明に係るチャットシステムの表示方法による、抽出した前文脈、キーワード及び後文脈を一覧表示した画面は、URLの場合の図7と同様であり、URLをキーワードに置き換えた画面になる。第10、12発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置は、会話終了時に、抽出したキーワードデータの領域15(図2)に、データがあるか否かを確認し、データがある場合は、URLの場合の図7と同様の画面を表示する。

【0066】図13は、第11発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。端末装置は、起動時に、キーワード出現フラグ11(図2)をリセットする(S66)。端末装置は、設定したキーワードが、図3に示す会話表示画面に表示されたとき又はチャットサーバーから送られて来て、そのキーワードを抽出したとき、キーワード出現フラグをセットする(S68)。端末装置は、ユーザーが手元のキーボードによりメッセージ(発言)を入力したとき、キーワード出現フラグがセットされていれば(S70, YES)、キーワード出現文脈(図12)を表示して(S72)、キーワード出現フラグをリセットする(S74)。

【0067】図14は、第13発明に係るチャットシステムの表示方法の概念を示す概念図である。ユーザーが、端末装置3の図3に示す会話表示画面の、参加者を一覧表示している領域25から、電話をかけようとする相手を選択すると、電話ソフトにより、公衆回線のネットワーク1を通じて、相手の端末装置4と電話接続する。この電話回線は、チャットシステムが使用している回線とは別の回線である。通常の電話の場合も、上述した場合と同様であるが、電話をかける方法として、ネットワーク1を通じて交換機経由でかける方法、及び電話機と端末装置とを接続する方法がある。端末装置の記憶装置には、ユーザーが使用する電話番号を格納する領域を設ける。

【0068】また、以下の方法でも電話をかけることが可能である。例えば、mulがpineに電話をかけるとする。端末装置は、電話をかけるメッセージを、例えば、`APHONE 164.70.21.211` Aのようなフォーマット

トで作成し、このメッセージを会話と同じ方法で、pineに送る。ここで、`A`で囲むことにより、会話と区別できるようにしており、PHONEは電話をかける要求を示し、164.70.21.211 はpineが使用している端末のIPアドレスである。

【0069】このメッセージを、チャットシステムのコマンドを使用して、例えば、`privmsg pine : A PHONE 164.70.21.211 A`のフォーマットで送ると、チャットサーバーにより、`mul privmsg pine A PHONE 164.70.21.211 A`のようにpine側に伝わる。pine側の端末装置は、メッセージを処理する際に、メッセージが`A`で囲まれているか否かをチェックし、囲まれている場合には、内容の解析を行う。

【0070】内容がPHONEであるときは、電話要求であるので、PHONEの次のIPアドレス(164.70.21.211)を取得し、このIPアドレスを使用して電話ソフトにより電話をかける。このIPアドレスはmulの端末装置のアドレスであるので、mulの端末装置の電話ソフトにより、この電話が受信され接続される。

【0071】図15は、第14～16発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。この記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、それらの会話の内、注目しているチャンネル(主チャンネル)における会話とその他のチャンネルにおける会話を一つの表示画面のそれぞれの領域23、24(図3)に表示するステップと、手元のキーボードから入力された発言を、それぞれの領域の間の領域22(図3)に表示するステップと、その他のチャンネルの領域24の発言が指定されたときは、そのチャンネルを、注目しているチャンネルに置換するステップを含むコンピュータプログラムPRaを記録してあるフレキシブルディスク、CD-ROMディスク又は光磁気ディスク等の記録媒体FDaが、ディスクドライブDDに装填されており、その内容はパーソナルコンピュータPCに読み込まれる。

【0072】読み込まれたコンピュータプログラムPRaはパーソナルコンピュータPCを制御する。その他の構成及び動作は上述した第3～5発明に係るチャットシステムの表示方法の実施の形態の構成及び動作と同様であるので、説明を省略する。

【0073】図16は、第17、18発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。この記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、それらの会話を表示するステップと、それらの会話中に表示されたURLをその前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップと、指示に従って、記憶したURLを一覧表示するステップと、選択されたURLをその前後の所定行数分の発言と共に一覧表示するステップと、記憶したURLとその前後の所定行数分の発言とをデータベースに登録するステップと、指示に従って、

登録したURLとその前後の所定行数分の発言とを一覧表示するステップとを含むコンピュータプログラムPRbを記録してあるフレキシブルディスク、CD-ROMディスク又は光磁気ディスク等の記録媒体FDbが、ディスクドライブDDに装填されており、その内容はパーソナルコンピュータPCに読み込まれる。

【0074】読み込まれたコンピュータプログラムPRbはパーソナルコンピュータPCを制御する。その他の構成及び動作は上述した第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法の実施の形態の構成及び動作と同様であるので、説明を省略する。

【0075】図17は、第19～23発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。この記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、それらの会話を表示するステップと、キーワードを設定するステップと、会話表示中にそのキーワードが表示されたときは、そのキーワードの太字表示化又は所定音の発生を行うステップと、会話表示中でない場合にそのキーワードを受信したときは、会話表示への復帰を行うステップと、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップと、会話終了時に、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に一覧表示するステップと、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に記憶するステップの後、手元のキーボードから入力されたときに、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に一覧表示するステップと、会話終了時に、そのキーワードをその前後の所定行数分の発言と共に、外部に設けられたリストアプリケーションプログラムに登録するステップとを含むコンピュータプログラムPRcを記録してあるフレキシブルディスク、CD-ROMディスク又は光磁気ディスク等の記録媒体FDcが、ディスクドライブDDに装填されており、その内容はパーソナルコンピュータPCに読み込まれる。

【0076】読み込まれたコンピュータプログラムPRcはパーソナルコンピュータPCを制御する。その他の構成及び動作は上述した第8～12発明に係るチャットシステムの表示方法の実施の形態の構成及び動作と同様であるので、説明を省略する。

【0077】図18は、第24発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。この記録媒体は、複数のチャンネルにおける会話を送受信するステップと、それらの会話を表示するステップと、それらの会話の参加者を一覧表示するステップと、選択された参加者と電話接続するステップとを含むコンピュータプログラムPRdを記録してあるフレキシブルディスク、CD-ROMディスク又は光磁気ディスク等の記録媒体FDdが、ディスクドライブDDに装填されており、その内容はパーソナルコンピュータPCに読み込まれる。

【0078】読み込まれたコンピュータプログラムPR

dはパーソナルコンピュータPCを制御する。その他の構成及び動作は上述した第13発明に係るチャットシステムの表示方法の実施の形態の構成及び動作と同様であるので、説明を省略する。

【0079】

【発明の効果】第1発明に係るチャットシステムの端末装置によれば、今話しているチャンネル（主チャンネル）の会話内容に注目し発言しつつ、その他のチャンネルの会話内容をも見ることができる。

【0080】第2発明に係るチャットシステムによれば、端末装置において、今話しているチャンネル（主チャンネル）の会話内容に注目し発言しつつ、その他のチャンネルの会話内容をも見ることができる。

【0081】第3発明に係るチャットシステムの表示方法及び第14発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、今話しているチャンネル（主チャンネル）の会話内容に注目し発言しつつ、その他のチャンネルの会話内容をも見ることができる。

【0082】第4発明に係るチャットシステムの表示方法及び第15発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、主チャンネルに発言しつつ、主チャンネル及びその他のチャンネルの会話内容を最新のものから見ることができる。

【0083】第5発明に係るチャットシステムの表示方法及び第16発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、オペレータにとって面白い話題、気になる話題の会話に直ちに加入することができる。

【0084】第6発明に係るチャットシステムの表示方法及び第17発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、URLの文字列と共に文脈を同時に抽出することにより、会話の中から重要な情報を抽出することができる。また、データベースに登録することにより、いつでも簡単に利用可能な情報データベースが普通の会話から作成できる。

【0085】第7発明に係るチャットシステムの表示方法及び第18発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、データベースに登録することにより、いつでも簡単に利用可能な情報データベースが普通の会話から作成できる。

【0086】第8発明に係るチャットシステムの表示方法及び第19発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、会話に専念していなくても、名前を呼ばれると直ちに返事ができるので、安心して会話から目が離せる。また、呼ぶ側も名前を呼べば、相手が見てくれるという安心感が得られるので、参加者が会話に専念していない状態でも安心して発言することができる。

【0087】第9発明に係るチャットシステムの表示方法及び第20発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、会話に専念していなくても、名前を呼ばれると直ちに返事ができ、文脈も直ちに確認できるので、安心して会話から目が離せる。また、呼ぶ側も名前を呼べば、相手が見てくれるという安心感が得られるので、参加者が会話に専念していない状態でも安心して発言することができる。

【0088】第10発明に係るチャットシステムの表示方法及び第21発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、今日一日自分がどういう用件で呼ばれたかを再確認でき、やり残した仕事がないかをチェックできる。

【0089】第11発明に係るチャットシステムの表示方法及び第22発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、端末装置の前から離れている間に名前を呼ばれた場合に、端末装置の前に戻って来て、直ちに、名前を呼ばれたこととその文脈とを確認することができる。

【0090】第12発明に係るチャットシステムの表示方法及び第23発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、オペレータは、例えば、自分の名前をキーワードにしておくと、自分がどういう用件で呼ばれたかを確認でき、その記録を保存しておくことができ、やり残している仕事がないかをチェックできる。

【0091】第13発明に係るチャットシステムの表示方法及び第24発明に係る記録媒体に記録してあるプログラムにより制御されるコンピュータによれば、オペレータが、会話中に一对一で直接話をしたくなった場合に、簡単な操作により電話接続することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るチャットシステムの実施の形態の構成例を示すブロック図である。

【図2】本発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の記憶装置の構成を示すブロック図である。

【図3】第3、5発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図である。

【図4】第3、5発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。

【図5】第4発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図である。

【図6】第6発明に係るチャットシステムの表示方法による、URLの一覧表と選択されたURLの前後の所定

行数分の会話の一覧表とを表示する画面を示す説明図である。

【図7】第7発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図である。

【図8】第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。

【図9】第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。

【図10】第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。

【図11】第8～12発明に係るチャットシステムの表示方法による、キーワード設定のための画面を示す説明図である。

【図12】第9、11発明に係るチャットシステムの表示方法による、抽出した前文脈、キーワード及び後文脈を表示した画面を示す説明図である。

【図13】第11発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャートである。

【図14】第13発明に係るチャットシステムの表示方法の概念を示す概念図である。

【図15】第14～16発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。

【図16】第17、18発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。

【図17】第19～23発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。

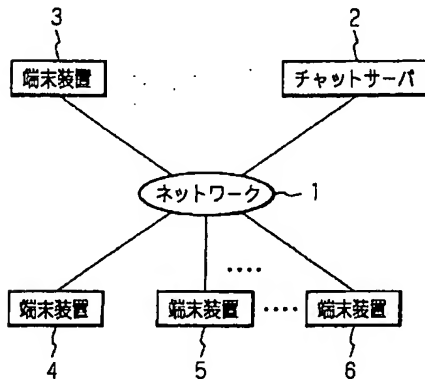
【図18】第24発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 ネットワーク
- 2 チャットサーバ
- 3～6 端末装置
- 10 記憶装置
- 11 キーワード出現フラグ
- 22 手元のキーボードから入力された発言を表示する領域
- 23 注目しているチャンネル（主チャンネル）の会話を表示する領域
- 24 その他のチャンネルの会話を表示する領域
- 25 会話への参加者の名前を一覧表示する領域
- FDa FDb FDe FDd 記録媒体
- DD ディスクドライブ
- PC パーソナルコンピュータ

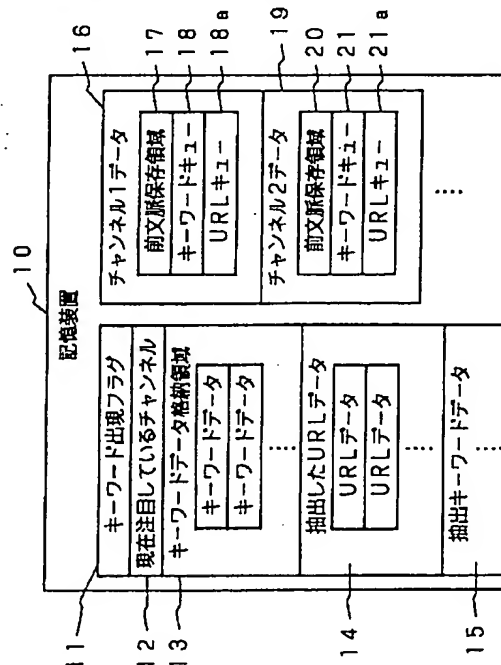
【図1】

本発明に係るチャットシステムの実施の形態の構成例を示すブロック図



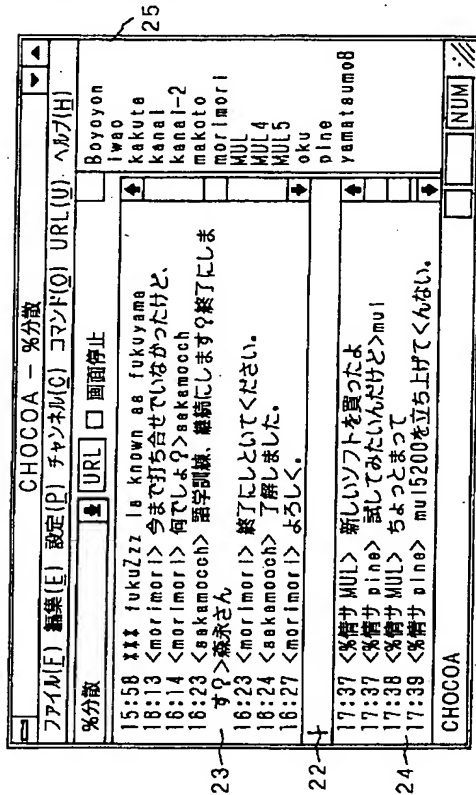
【図2】

本発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の記憶装置の構成を示すブロック図



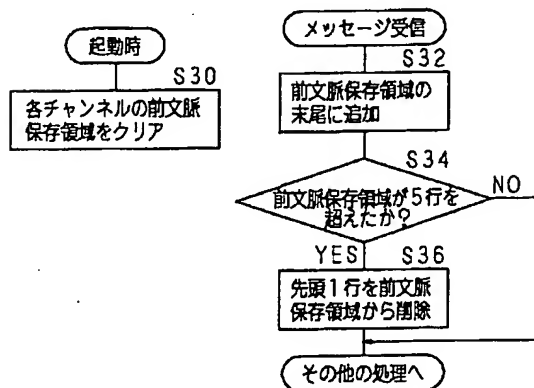
【図3】

第3、第5発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図



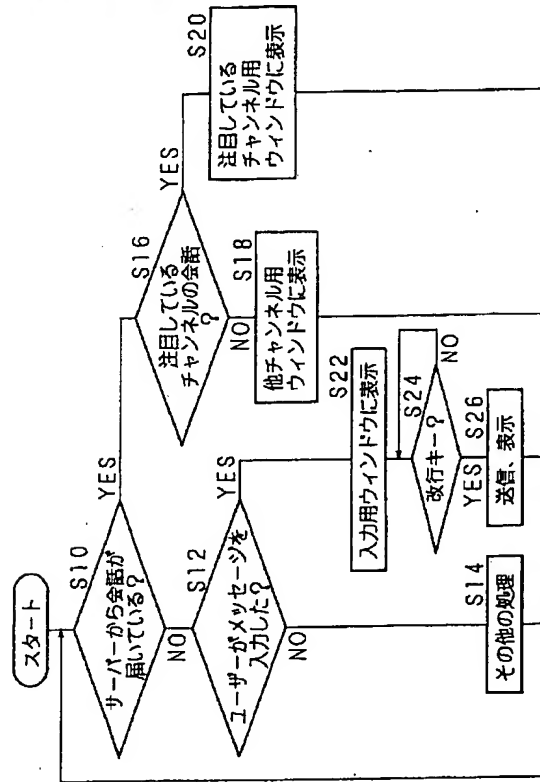
【図8】

第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャート



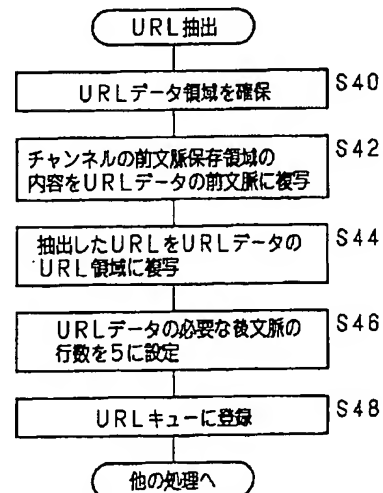
【図4】

第3、第5発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャート



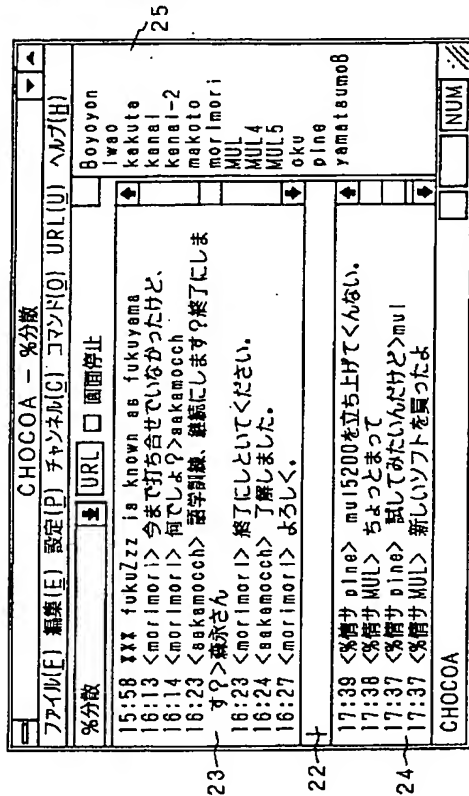
【図9】

第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャート



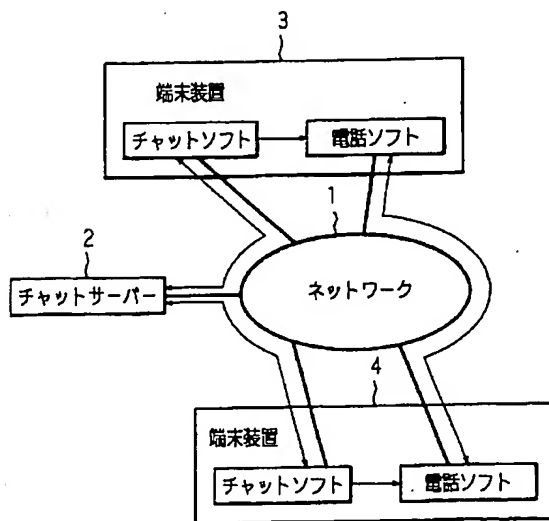
【図5】

第4発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図



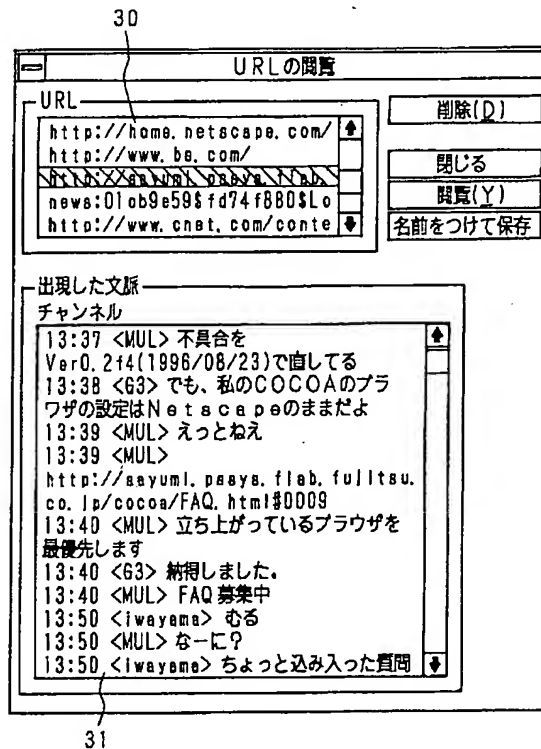
【図14】

第13発明に係るチャットシステムの表示方法の概念を示す概念図



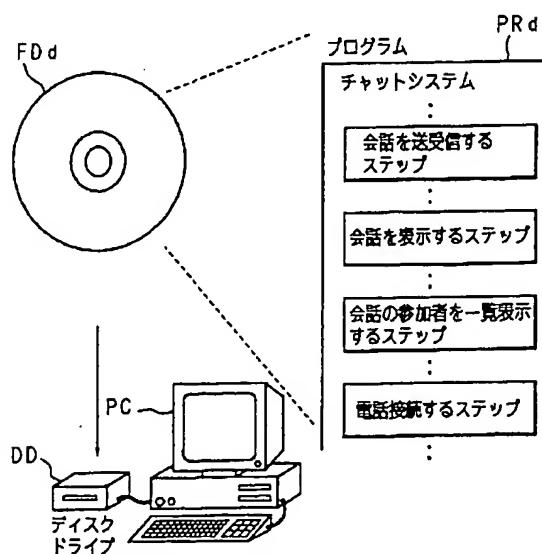
【図6】

第6発明に係るチャットシステムの表示方法によるURLの一覧表と選択されたURLの前後の所定行数分の会話の一覧表とを表示する画面を示す説明図



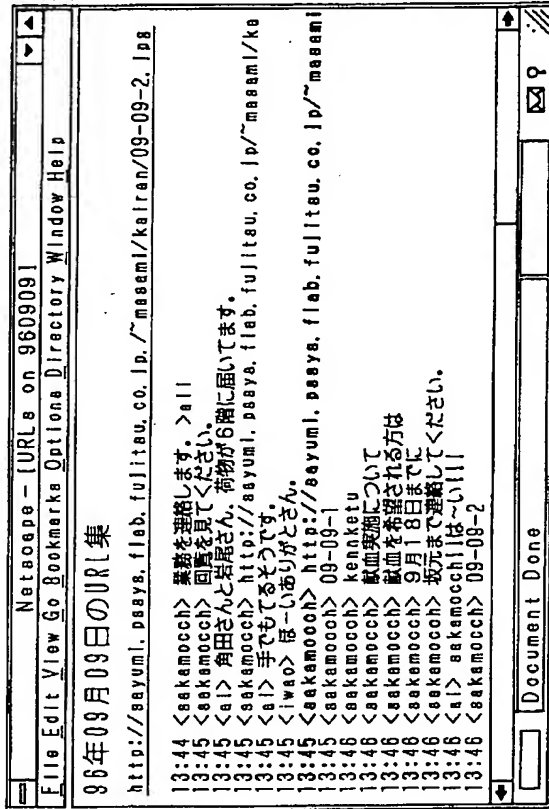
【図18】

第24発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図



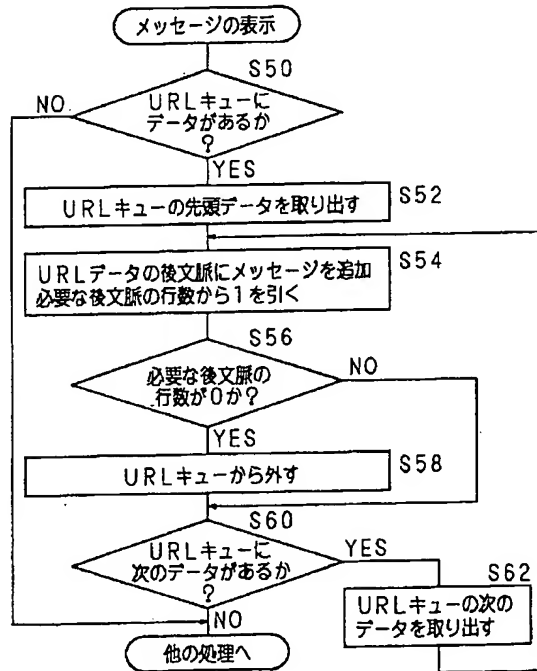
【図7】

第7発明に係るチャットシステムの表示方法による表示画面を示す説明図



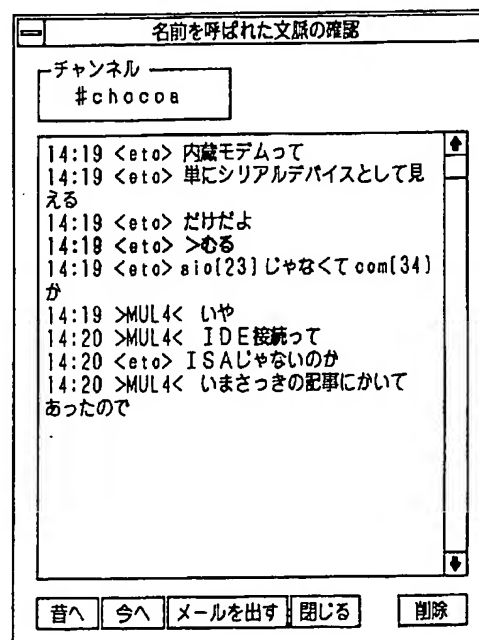
【図10】

第6、7発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する端末装置の動作を示すフローチャート



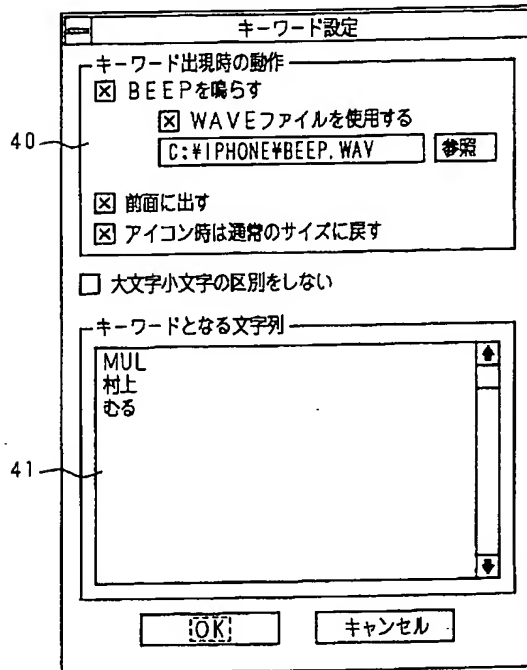
【図12】

第9、11発明に係るチャットシステムの表示方法による抽出した前文脈、キーワード及び後文脈を表示した画面を示す説明図



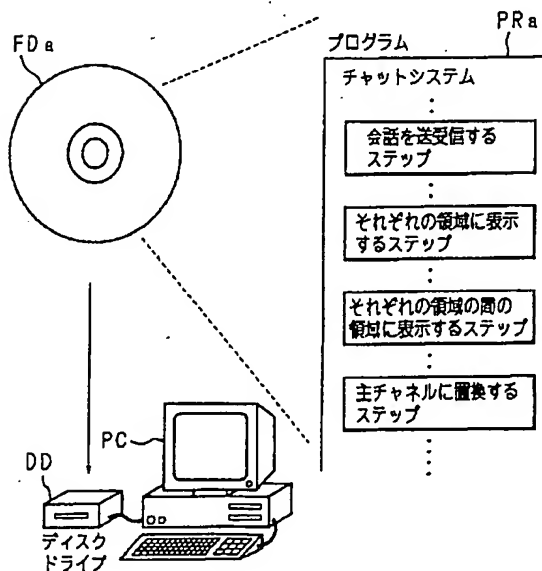
【図11】

第8～12発明に係るチャットシステムの表示方法による
キーワード設定のための画面を示す説明図



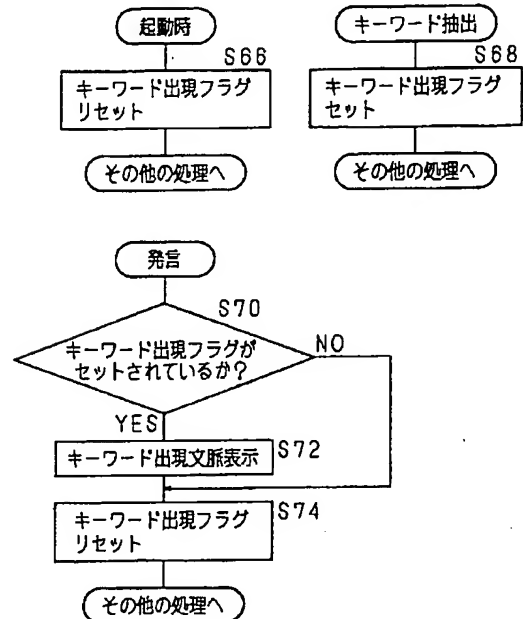
【図15】

第14～16発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図



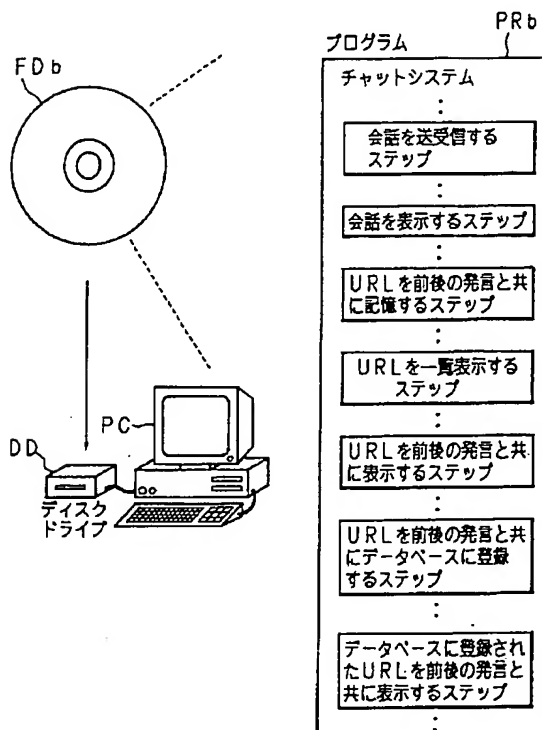
【図13】

第11発明に係るチャットシステムの表示方法を実行する
端末装置の動作を示すフローチャート



【図16】

第17、18発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図



【図17】

第19～23発明に係る記録媒体の実施の形態の構成を示す説明図

